

(平成24年度茅野市民館主催事業 優秀映画鑑賞推進事業)

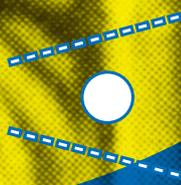
N o s t a l g i c

J a p a n e s e

F i l m T h e a t r e

懐 かし の

名 画 座



歌って、踊って、笑って日本ミュージカル・シネマ大集合!

2012年10月24日(水) → 25日(木) 10:00-

茅野市民館 マルチホール

料金 = 1回券 前売: 400円 当日: 500円 (各回入替制)

チケット取り扱い=茅野市:茅野市民館、NPO法人サポートC、シマダヤ楽器店、ベレックLCV、平安堂茅野店 富士見町:今井書店ふじみ店
諏訪市:平安堂諏訪店 岡谷市:笠原書店本店 主催=茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造/文化庁/東京国立近代美術館フィルムセンター
協賛=株式会社衛星劇場 協力:株式会社オーエムシー、NPO法人サポートC、小津安二郎記念豊科高原映画祭実行委員会 後援=茅野市、
茅野市教育委員会、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ(7紙)、長野エフエム放送株式会社、エルシーブイ株式会社、
株式会社長野こまち、株式会社まちなみカントリーブレス、月刊ぶらざ、J R 東日本長野支社、信州諏訪農業協同組合、株式会社信毎販売センター



もっとながる、もっとひろがる。

懐かしの 名画座



理屈抜きに楽しい!底抜けに明るい!懐かしい美空ひばりの歌声、加山雄三の若々しい姿、昭和の喜劇王エノケンのハチャメチャぶり、フランキー堺のエネレギッシュな躍動感、昭和14年から昭和39年までに製作された日本映画史を代表する和製ミュージカルを大きなスクリーンでご覧いただけます。
今秋は『映画の街、茅野』が熱い!週末から始まる第15回小津安二郎記念蓼科高原映画祭と一緒に映画の素晴らしさをみなさんでお楽しみください。

SCHEDULE

10
24
WED.

- 10:00
ジャンケン娘
- 12:00
エノケンの
頑張り戦術
- 14:00
ジャンケン娘
- 16:00
エノケンの
頑張り戦術
- 19:00
ジャンケン娘

※映画上映後に
モニターショーあります。



ジャンケン娘 [1955年 東宝]

●原作:中野実、脚本:八田尚之、監督:杉江敏男 ●出演者:美空ひばり、江利チエミ、雪村いづみ 他 ●解説:「平凡」連載の小説をもとに、当時人気沸騰のひばり・チエミ・いづみの三人娘が主演した明朗な娯楽作品。三人が劇中劇の形でそれぞれ歌や踊りを披露するシーンでも、衣装や舞台装置にこうした色彩効果が活かされている。物語は、東京の高校生であるひばりとチエミが京都を訪れ、仲良しになった舞妓のいづみから恋人探しを頼まれるというもの。(カラー/スタンダード/92分)



エノケンの頑張り戦術 [1939年 東宝(東京)]

●脚本:小国英雄、監督:中川信夫、製作:氷室徹平 ●出演者:榎本健一、宏川光子、小高たかし 他 ●解説:浅草オペラ出身で、「カジノフォーリー」の人気者として世に知られ、日本初の本格的レビュー映画『エノケンの青春酔虎伝』(1934)以来、戦後にまたがって数々の映画に主演した不世出の喜劇役者、榎本健一。この作品は、エノケンが最も脂の乗っていた時期のもので、防弾チョッキ製造会社で犬猿の仲である二人の社員が、何事にかけても張り合う姿を抱腹絶倒の喜劇に仕立てたもの。(白黒/スタンダード/74分)

SCHEDULE

10
25
THU.

- 10:00
君も出世ができる
- 12:00
大学の若大将
- 14:00
君も出世ができる
- 16:00
大学の若大将
- 19:00
君も出世ができる

※映画上映前に
モニターショーあります。



君も出世ができる [1964年 東宝]

●脚本:笠原良三、井手俊郎、監督:須川栄三、音楽:益敏郎 ●作詞:谷川俊太郎 ●出演者:フランキー堺、高島忠夫、益田喜頓、雪村いづみ 他 ●解説:東京オリンピックの時代を背景に、外国の観光団を自社に引き寄せようとする観光会社の争いをユーモラスに描いた本格的なミュージカル・コメディ映画。ダンスの振付、音楽の構成、舞台装置、編集などあらゆる面で本場ハリウッドのミュージカル・コメディを研究した様が窺えるが、作曲面では登場人物のキャラクターごとに曲調をくっきり使い分けるなど、細かい工夫が随所になされている。(カラー/シネマスコプ/100分)



大学の若大将 [1961年 東宝映画]

●脚本:笠原良三、田波靖男、監督:杉江敏男 ●出演:加山雄三、有島一郎、飯田蝶子、田中邦衛 他 ●解説:俳優加山雄三の代名詞とも言える東宝「若大将シリーズ」の第1作で、1971年までの11年間に17本が製作された。名優上原謙の長男という「芸能界のサラブレッド」としてデビューした加山は、明朗快活、スポーツ万能、歌や楽器もこなすというキャラクターで売り出された。いつも若大将にみじめな敗北を喫するパターンではあるが、「青大将」を演じた田中邦衛に世の注目が集まるきっかけとなった。(カラー/シネマスコプ/82分)

TALK SHOW

トークショー

両日、最終上映の前後に飯岡詩朗氏(信州大学人文学部准教授)をお招きして、和製ミュージカル映画をもっと楽しめるモニターショーがあります。(要入場券)

飯岡詩朗(いのおか・しろう) 信州大学人文学部准教授。専門は映画・映像文化研究。著書(共著)に『映画の政治学』(青弓社)など。訳書に『フィルム・アート映画芸術入門』(名古屋大学出版会)。特別非営利活動(NPO)法人松本CINEMAセレクト理事。

小津安二郎から21世紀の映画へ

2012年10月27日(土)、28日(日)

会場=茅野市民館マルチホール、新皇劇場 ほか

上映作品=小津安二郎監督作品『父ありき』

『東京の合唱』、追悼・新藤兼人監督『一枚のハガキ』

『午後の遺言状』、日本映画監督協会新人賞作品『エンディングノート』、『しあわせのパン』『わが母の記』ほか

詳しくは、実行委員会事務局:〒391-8501 長野県茅野市塚原2-6-1 茅野市役所観光課内

Tel.0266-72-2101 Fax.0266-72-5833

ウェブサイト:<http://www.tateshinakougen.gr.jp/cinema/>



お問合せ 茅野市民館

〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号

Tel.0266-82-8222 Fax.0266-82-8223

■JR中央線 茅野駅下車、東口直結

■中央自動車道・諏訪ICより車で約12分

ウェブサイト:<http://www.chinoshiminkan.jp/>